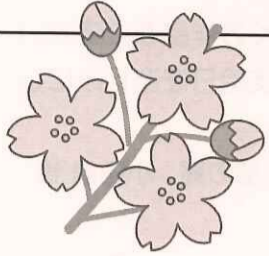


会報

みらい

目次

- p.1 ・各種大会結果報告
ローリングバレーボール大会／ステージ発表
／卓上競技大会
- p.2 ・各種大会結果報告
作品展示・販売
・ノーリフトケアについて
・広報委員のつばやきコーナー



発行人：神奈川県身体障害施設協会 代表者：伊藤 崇博 編集：広報委員 印刷：アテイン

各種大会結果報告

ローリングバレーボール大会

開催日：平成30年9月22日（土）

場所：スカイアリーナ座間

第29回大会が開催されました。今年度も多くの方の協力の下、県内の施設およびクラブチームから17チームが参加し、A～Cブロックに分かれて熱戦を繰り広げました。なお、結果は下表のとおりです。

	Aブロック	Bブロック	Cブロック
優勝	RVCハッスルかわせみ	烏帽子岩 ダイナマイトブラザーズ (湘南希望の郷)	ドラゴン No.1 (アガペ寺番館)
準優勝	にこにこ会 ツルミ (リハビリテーションスポーツクラブ にこにこ会)	サムライ寒川	海賊団ましまろ (水平線)
3位	江ノ島バナナボーイズ	横浜マリファイターズ (よこはまリバーサイド泉)	チームくろふね (シャローム浦上台)

体育委員会委員長 精陽学園 清水 行夫



ステージ発表

開催日：平成30年11月17日（土）

場所：藤沢市太陽の家体育館

今年のステージ発表会は、昨年に引き続き「藤沢市太陽の家体育館」にて開催されました。今年度は残念ながら7団体の参加となりましたが、各施設で練習を積み重ねてきた良い発表の機会となり、皆さんとても良い表情で頑張られている姿に感動いたしました。また、今年度は文化委員の皆さんにより「花は咲く」の合唱があり一体感のあるステージ発表会となりました。(委員長が大きな声で間違っていたことも印象的でした。)

文化委員会委員長
湘南希望の郷
小田嶋 悟



足柄療護園	天に届け！やまゆりの清らかなメロディー賞
湘南希望の郷、湘南希望の郷ケアセンター	元気に大空へ！！ たんぽぽ合唱団賞
よこはまリバーサイド泉	幸せを願う大きな愛のバラ賞
アガペ寺番館	輝く冬を奏でる ポインセチア賞
シャローム浦上台	海原を照らす星たち クリスマスローズ賞
ソーレ平塚	雨上がりに光る 七色のおじさい賞
丹沢レジデンシャルホーム	秋風にゆれるやさしいコスモス賞

卓上競技大会

開催日：平成30年12月1日（土）

場所：藤沢市太陽の家体育館

第51回卓上競技大会が開催されました。当日は、天候も良く、選手112名、付き添いや応援の方を含めると200名以上の方が集まり、熱戦が繰り広げられました。真剣勝負を囲んで観戦する方も多くいました。

試合結果は以下の通りです。

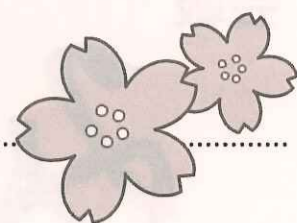
(スペースの都合で個人は優勝者のみの紹介となります。ご容赦ください。) 来年も皆さまのご参加をお待ちしております。

卓上競技大会実行委員会 水平線 佐藤 伸



囲碁の部	優勝	金林 明さん (水平線)
連珠の部	優勝	郡司 和徳さん (丹沢レジデンシャルホーム)
将棋の部	優勝	森 明さん (水平線)
はさみ将棋の部	優勝	佐藤 一明さん (アガペセンター)
オセロの部	優勝	寿丘 宏子さん (リエゾン笠間)
オセロの部 (ダブルス)	優勝	日比野 克明さん (丹沢レジデンシャルホーム) 足立 克己さん
団体の部	優勝	丹沢レジデンシャルホーム (46点)
	準優勝	水平線 (36点)
	3位	神奈川ワークショップ (28点)

各種大会結果報告



作品展示・販売

開催日：平成31年3月11日（月）～13日（水） 場所：かながわ県民センター

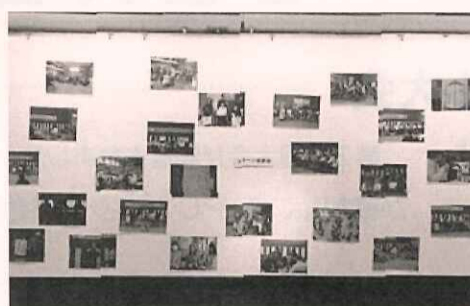
平成最後となる「第24回身体障害施設協会作品展示・販売」が平成31年3月11日～13日の3日間、かながわ県民センター展示場で開催されました。

今年度のサブテーマは「自由にはばたけ 僕たち・私たちのアート」と題しまして県内9施設のいすれ劣らぬ作品が展示され、来場者の方々の心

に感動と勇気を分け与えていました。

また、販売コーナーにつきましても大変好評で、多くの作品をご購入いただきました。商品を作成された利用者さんは、工賃支給日を楽しみにしててください。

文化委員会委員長 湘南希望の郷 小田嶋 悟



ノーリフトケアの取り組みと普及について

職員・利用者ともに安全安心な施設を目指して。

当施設では、平成28年度よりノーリフトケア導入に向けて取り組みを実施してまいりました。きっかけは、平成27年11月に日本ノーリフト協会の保田先生の講演会に参加させていただき、ノーリフトケアは、職員にとって「腰痛予防対策」という労働安全衛生の視点から重要であることはもちろんのこと、施設利用者にとっても「拘縮等2次的障害の予防」、「移乗時の安全確保」、そして「安心して受けられる介護法」として有用であり、「安全安心な施設づくり」に不可欠であるということをお伝えいただいたことでした。早速、保田先生をお願いをし、平成28年度よりノーリフトケア導入に向けコンサルティングが開始されました。約2年半ご指導を受け、導入担当職員によるアセスメント、ノーリフトケア講習会の開催等の努力もあり、当初は、ノーリフトケアに懐疑的であった職員も、ノーリフトケアは「当たり前なもの」と考えていただけるようになりました。しかし、すべての利用者へのノーリフトケア導入までは、ハード面で解決すべき課題（リフター増設、居室等の使用環境改善等）があり、もうしばらく時間がかかりそうです。



▲リフター研修の様子

横浜市内では、横浜市旧療護系4施設が、「ノーリフトを横浜のスタンダードに」を合い言葉に活動を開始。平成28年10月に、横浜市社会福祉協議会障害福祉部会に、保田先生を講師にお招きして「ノーリフトケアの理念と日本での取り組みについて」をテーマに講演会を開催、障害関係施設にノーリフトについて情報提供を行いました。また、各施設では、リフターの設置・職員教育等を行い、平成29年7月には、市内4施設の「ノーリフト実践報告会」を開催、職員レベルでの情報交換を行いました。



▲ノーリフト実践報告会の様子

神奈川県域でも、昨年、日本ノーリフト協会かながわ支部が活動を開始、その取り組みが神奈川新聞に取り上げられるなど、ノーリフトケアの普及活動が進みつつあります。

冒頭でもふれましたが、人力による移乗介助は、職員だけでなく、施設利用者にとってもリスクが高く負担感の大きい介護の手法です。専門職として、利用者職員双方に安全な介護を実践し、移乗介護の負担感を減らし、介護現場に笑顔を取り戻すためにも、介護にかかわるすべての施設さらには、在宅介護の場でも、一日も早くノーリフトケアが定着することがのぞまれます。

よこはまリバーサイド泉 施設長 中村 良隆

Tsubuyaki Corner 広報委員のつづやきコーナー



slow life

平成もいよいよ終わり新しい時代が来ます。昭和にできた”施設”というシステムもリニューアルの時期ですね。



福祉職員（しゅぎょうちゅうLv.2）

現場での『ありがとう』って、疲れを吹き飛ばす“魔法の言葉”だと思う。やられた～。



生涯現役

夜勤明けのお疲れ様。ありがとう。気をつけて帰ってね。の言葉が疲れた心身に染み渡る。



介護ゆとり士

頑張りすぎないで、楽に楽しく！生活にゆとりを持てばお互いHAPPY！助けあえばなんとかなる。



N.P.A

時間に追われバタバタする事が多いですが、着実に丁寧に元気で明るくをモットーに頑張ります。



7つのフキを持つジムイン

工具、洗濯機、パソコン、電卓、コピー機、消火器、箒…大切な仕事道具です！

介護職 # 介護の仕事 # やりがい # 挨拶は大切！ # オリジナル曲 # 水平線は家族だもん # 職員同士尊敬し合う # 合言葉 # マジリスペクト # 共生型サービス # アンガーマネジメント # 地震対策 # コスト削減